



2020年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月14日

上場会社名 コムシード株式会社
 コード番号 3739 URL <https://www.commseed.net/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚原 謙次
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 大久保 泰夫 TEL 03-5289-3111
 定時株主総会開催予定日 2020年6月23日 有価証券報告書提出予定日 2020年6月23日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,171	13.9	19	49.0	17	52.9	54	
2019年3月期	1,360	10.2	39	44.7	37	60.6	20	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	4.77		7.8	1.7	1.7
2019年3月期	1.78	1.76	2.9	3.5	2.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(注) 当社は2020年4月1日付をもって、1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。また、2020年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	996	672	67.4	58.52
2019年3月期	1,062	727	68.3	63.30

(参考) 自己資本 2020年3月期 671百万円 2019年3月期 726百万円

(注) 当社は2020年4月1日付をもって、1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産額」を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	72	225	18	352
2019年3月期	60	94	31	632

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想については、現時点で合理的な算出が困難なため、記載しておりません。詳細については添付資料P3「1.経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	11,474,528 株	2019年3月期	11,474,528 株
期末自己株式数	2020年3月期	148 株	2019年3月期	株
期中平均株式数	2020年3月期	11,474,385 株	2019年3月期	11,474,528 株

(注)当社は2020年4月1日付をもって、1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)2021年3月期の業績予想については、前述のとおり記載しておりません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2020年5月14日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、消費増税による個人消費の落ち込みが影響し、依然として先行きに対する不透明感が続いております。さらに2020年に入り、コロナウイルス感染症の影響により、個人消費に関連する業種の景況感が大きく落ち込むなど、国内景気は過去最大の下落を見せております。

一方、当社を取り巻くビジネス環境としては、社会のインフラとして必要不可欠なICT分野の技術革新の中、モバイル端末上の市場に向けたコンテンツサービスが活況をみせており、中でも消費者向けのゲームはスマートフォン・タブレット向けのアプリケーション市場を牽引する存在となっております(令和元年版情報通信白書)。

このような環境の下、当社は、引き続きスマートフォン向けコンテンツビジネスのさらなる成長およびシェアの拡大を図るべく、既存事業の維持と、アライアンスを中心に新規事業の展開を進めてまいりました。

売上高に関しては、本事業年度は主力事業であるバーチャルホール『グリパチ』が一旦成長停滞期に入り、一方新規事業は立ち上げの準備期間であったことから、売上高は前年を下回る結果となりました。

利益面では、売上原価抑制、徹底したコスト削減により、営業利益、経常利益を計上しておりますが、最終損益では一部事業の減損等の影響から、黒字を達成するには至りませんでした。

以上の結果、当事業年度の売上高は1,171,372千円(前年同期比13.9%減)、営業利益19,961千円(前年同期比49.0%減)、経常利益17,693千円(前年同期比52.9%減)、当期純損失54,755千円(前年同期は当期純利益20,397千円)となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

- ① ソーシャルゲームについては、主力サービスのバーチャルホール『グリパチ』の成長停滞が響き、想定した売上を達成するには至りませんでした。また、新規タイトルとして期中にリリースした『ファンタジーファーム』については、想定した売上に満たず、早期にサービスを終了し、リソースをその他タイトルに振り分けております。その他のソーシャルゲームについては順調に推移いたしました。以上の結果、ソーシャルゲーム全体の売上は対前期比19.2%の減少となりました。
- ② 従量制アプリについては、新タイトルのリリースが実機の状態に左右され、年間の配信本数が2本にとどまりました。第3四半期以降は有力タイトルをリリースするなど堅調に推移しましたが、売上計画を達成するには至りませんでした。以上の結果、従量制アプリは対前期比4.4%の減少となりました。
- ③ 受託開発および運営業務に関しては、ストック型案件が堅調だったのに対し、フロー型案件が想定を下回り、売上高は対前期比3.4%の減少となりました。
- ④ その他新規事業につきましては、当第4四半期に株式会社WEAREとの共同プロジェクト第一弾、『ボイメン祭nine. BMK ~Secret Message~』をリリースいたしました。また、ゲームパブリッシング事業では、韓国KRAFTON社と提携し、新作ゲーム『ビッグバッドモンスターズ』日本版独占配信を決定、当期末に事前登録を開始しております。

また、既に中国、台湾、香港等で先行リリースされ、グリー株式会社より日本国内版をリリースする予定となっている人気アニメ『ワンパンマン』のスマートフォンゲーム『ONE PUNCH MAN 一撃マジファイト』については、当社が日本配信版の企画・開発・運営に参画しておりますが、当期は関係各社と連携しながらリリースに向けた準備を進行了いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(資産)

当事業年度末における資産は66,526千円減少し、996,091千円(前事業年度末比6.3%減)となりました。

これは主に、前渡金23,850千円、前払費用22,382千円、ソフトウェア仮勘定57,140千円、関係会社株式70,200千円、関係会社社債59,800千円、長期前払費用48,822千円の増加がありましたが、現金及び預金279,138千円、売掛金24,254千円、繰延税金資産9,852千円の減少と貸倒引当金39,000千円の計上によるものです。

(負債)

当事業年度末における負債は11,660千円減少し、323,654千円(前事業年度末比3.5%減)となりました。

これは主に、長期借入金41,272千円の増加がありましたが、買掛金20,519千円、一年内返済予定長期借入金22,256千円、未払費用3,428千円、未払消費税等3,328千円、預り金3,334千円の減少によるものです。

(純資産)

当事業年度末における純資産は54,866千円減少し、672,437千円(前事業年度末比7.5%減)となりました。

これは、主に当期純損失の計上による利益剰余金54,755千円の減少によるものです。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ279,138千円減少し、352,945千円（対前年同期比44.2%減）となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は72,493千円（前年同期は60,192千円の獲得）となりました。

これは主に、減価償却費20,308千円、減損損失21,189千円、貸倒引当金の増加39,000千円、売上債権の減少21,554千円による資金増加と、税引前当期純損失42,609千円、仕入債務の減少20,519千円、その他流動資産の増加23,500千円、前払費用の増加22,279千円、長期前払費用の増加53,145千円、その他流動負債の減少9,592千円の資金減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は225,607千円（前年同期は94,786千円の使用）となりました。

これは主に、無形固定資産の取得による支出97,607千円、関係会社株式の取得による支出70,200千円、関係会社社債の取得による支出59,800千円の資金減少によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は18,962千円（前年同期は31,598千円の使用）となりました。

これは主に、短期借入による収入50,000千円、長期借入による収入100,000千円の資金増加と、短期借入金の返済による支出50,000千円、長期借入金の返済による支出80,984千円の資金減少によるものです。

（4）今後の見通し

まずは主力事業であるソーシャルゲーム「グリパチ」に加え、ゲームパブリッシング事業、受託事業を通して、ユーザーの皆様のニーズにマッチした質の高いコンテンツを提供し、収益基盤を維持してまいります。その上で、第2、第3の柱となる事業の創出を早期に実現すべく、他のコンテンツホルダーや周辺領域において豊富なノウハウを持つ企業とのアライアンス等を引き続き推進してまいります。

なお、当社を取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことに加え、当社業績は著作権を持つ取引先の状況や、パチンコ・パチスロ系スマートフォンアプリに関する実機の許認可の状況に左右される場合があり、当社の業績も短期的に大きく変動することも想定されます。

また、現時点で新型コロナウイルス感染症拡大が当社の事業活動及び計画や経営成績に与える影響を合理的に算定することが困難なため、2021年3月期の業績見通しにつきましては、現時点では開示を見合わせることにいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	632,084	352,945
受取手形	19,200	19,900
売掛金	206,401	182,147
仕掛品	2,304	2,534
原材料及び貯蔵品	1,340	1,158
前渡金	—	23,850
前払費用	19,526	41,909
その他	1,532	8
流動資産合計	882,389	624,455
固定資産		
有形固定資産		
建物	16,617	16,617
減価償却累計額	△12,892	△13,561
建物（純額）	3,724	3,056
工具、器具及び備品	43,420	21,529
減価償却累計額	△36,917	△16,592
工具、器具及び備品（純額）	6,502	4,936
有形固定資産合計	10,227	7,992
無形固定資産		
電話加入権	448	448
ソフトウェア	42,120	47,648
ソフトウェア仮勘定	—	57,140
無形固定資産合計	42,568	105,237
投資その他の資産		
投資有価証券	60,770	60,600
関係会社株式	—	70,200
関係会社社債	—	59,800
出資金	20	20
長期貸付金	8,169	9,000
差入保証金	21,266	21,609
長期前払費用	—	48,822
繰延税金資産	37,207	27,354
貸倒引当金	—	△39,000
投資その他の資産合計	127,432	258,407
固定資産合計	180,229	371,636
資産合計	1,062,618	996,091

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	118,192	97,672
1年内返済予定の長期借入金	52,604	30,348
未払金	13,460	13,160
未払費用	7,050	3,622
未払法人税等	7,043	7,027
未払消費税等	13,302	9,974
前受金	29,214	30,181
預り金	6,231	2,897
流動負債合計	247,099	194,884
固定負債		
長期借入金	59,924	101,196
退職給付引当金	9,094	8,376
役員退職慰労引当金	19,197	19,197
固定負債合計	88,215	128,769
負債合計	335,315	323,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	884,926	884,926
資本剰余金		
資本準備金	316,035	316,035
資本剰余金合計	316,035	316,035
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△474,677	△529,433
利益剰余金合計	△474,677	△529,433
自己株式	—	△53
株主資本合計	726,283	671,474
新株予約権	1,020	963
純資産合計	727,303	672,437
負債純資産合計	1,062,618	996,091

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,360,191	1,171,372
売上原価	899,751	720,280
売上総利益	460,439	451,092
販売費及び一般管理費	421,299	431,131
営業利益	39,140	19,961
営業外収益		
受取利息	170	367
その他	22	6
営業外収益合計	193	374
営業外費用		
支払利息	1,286	1,152
支払手数料	500	1,490
営業外費用合計	1,786	2,642
経常利益	37,546	17,693
特別利益		
新株予約権戻入益	72	57
特別利益合計	72	57
特別損失		
減損損失	—	21,189
貸倒引当金繰入額	—	39,000
投資有価証券評価損	—	169
特別損失合計	—	60,359
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	37,618	△42,609
法人税、住民税及び事業税	2,296	2,294
法人税等調整額	14,925	9,852
法人税等合計	17,221	12,146
当期純利益又は当期純損失(△)	20,397	△54,755

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 労務費		105,655	11.7	84,603	11.7
II 外注費		148,030	16.5	103,356	14.3
III 経費		646,133	71.8	532,550	73.9
当期総製造費用		899,818	100.0	722,815	100.0
期首仕掛品棚卸高		2,236		2,304	
計		902,055		722,798	
期末仕掛品棚卸高		2,304		2,534	
当期売上原価		899,751		720,280	

(注) 原価計算の方法
個別原価法によっております。

※1. 経費のうち主なものは次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
著作権料(千円)	271,785	219,662
システム利用料(千円)	147,862	115,794
情報使用料(千円)	61,333	37,050
通信費(千円)	27,052	28,604
減価償却費(千円)	24,906	18,766

（3）株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	884,926	316,035	316,035	△495,074	△495,074	705,886
当期変動額						
当期純利益				20,397	20,397	20,397
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）			-		-	-
当期変動額合計	-	-	-	20,397	20,397	20,397
当期末残高	884,926	316,035	316,035	△474,677	△474,677	726,283

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	1,092	706,978
当期変動額		
当期純利益		20,397
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	△72	△72
当期変動額合計	△72	20,325
当期末残高	1,020	727,303

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	884,926	316,035	316,035	△474,677	△474,677	—	726,283
当期変動額							
当期純損失(△)				△54,755	△54,755		△54,755
自己株式の取得						△53	△53
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計				△54,755	△54,755	△53	△54,809
当期末残高	884,926	316,035	316,035	△529,433	△529,433	△53	671,474

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	1,020	727,303
当期変動額		
当期純損失(△)		△54,755
自己株式の取得		△53
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△57	△57
当期変動額合計	△57	△54,866
当期末残高	963	672,437

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	37,618	△42,609
減価償却費	26,276	20,308
減損損失	—	21,189
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△1,370	—
新株予約権戻入益	△72	△57
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	39,000
投資有価証券評価損益(△は益)	—	169
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△521	△718
受取利息及び受取配当金	△170	△368
支払利息	1,286	1,152
売上債権の増減額(△は増加)	7,314	21,554
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,524	△48
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,140	△20,519
その他の流動資産の増減額(△は増加)	6,296	△23,500
前払費用の増減額(△は増加)	11,439	△22,279
長期前払費用の増減額(△は増加)	4,471	△53,145
その他の流動負債の増減額(△は減少)	10,681	△9,439
小計	61,584	△69,311
利息及び配当金の受取額	170	368
利息の支払額	△1,259	△1,255
法人税等の支払額	△1,151	△2,294
法人税等の還付額	847	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,192	△72,493
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,480	—
無形固定資産の取得による支出	△25,316	△97,607
投資有価証券の取得による支出	△60,770	—
関係会社株式の取得による支出	—	△70,200
関係会社社債の取得による支出	—	△59,800
貸付けによる支出	△9,000	—
その他の収入	3,780	2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,786	△225,607
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50,000
短期借入金の返済による支出	△81,500	△50,000
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△50,098	△80,984
自己株式の取得による支出	—	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,598	18,962
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△66,192	△279,138
現金及び現金同等物の期首残高	698,276	632,084
現金及び現金同等物の期末残高	632,084	352,945

（5）財務諸表に関する注記事項
 （継続企業の前提に関する注記）
 該当事項はありません。

（持分法損益等）

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	一千円	70,200千円
持分法を適用した場合の投資の金額	—	63,898

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
持分法を適用した場合の投資利益（△は 損失）の金額	一千円	△6,301千円

（注）前事業年度は、持分法を適用する関連会社が存在しないため記載しておりません。
 当事業年度は、株式取得により株式会社モビディックを関連会社とし、みなし取得日は2019年9月30日としております。このため、株式会社モビディックの年度に係る決算日が2019年12月31日であり当社の決算日とは異なることから、当事業年度に係る持分法を適用した場合の投資損益については2019年10月1日から12月31日までの期間のみ記載を行っております。

（セグメント情報等）

当社は、モバイル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
1株当たり純資産額	63.30円	58.52円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 （△）	1.78円	△4.77円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	1.76円	－円

（注）1．当社は、2020年1月24日開催の取締役会決議に基づき、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

2．1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び算定の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 （△）		
当期純利益又は当期純損失（△）（千円）	20,397	△54,755
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失（△） （千円）	20,397	△54,755
普通株式の期中平均株式数（株）	11,474,528	11,474,385
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額（千円）	1.76	－
普通株式増加数（株）	91,327	－
（うち新株予約権（株））	（－）	（－）
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要		－

（注）当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

（重要な後発事象）

（株式の分割）

当社は、2020年1月24日開催の取締役会決議に基づき、2020年4月1日付で株式分割を実施いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位あたりの金額の引き下げにより、投資家の皆様がより一層投資しやすい環境を整えることで、当社株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2020年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合で分割いたしました。

(2) 分割により増加する株式数

① 株式分割前の発行済株式総数	5,737,264株
② 株式分割により増加する株式数	5,737,264株
③ 株式分割後の発行済株式総数	11,474,528株
④ 株式分割後の発行可能株式総数	44,000,000株

(3) 分割の日程

① 基準日公告日	2020年3月13日
② 基準日	2020年3月31日
③ 効力発生日	2020年4月1日

(4) 新株予約権の行使価額の調整

当該株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たり行使価額を、効力発生日である2020年4月1日以降、以下のとおり調整いたしました。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第6回新株予約権	452円	226円

(5) 1株当たり情報に与える影響

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、（1株当たり情報）に記載のとおりであります。

（第4回無担保転換社債型新株予約権付社債の募集）

当社は、本日開催の取締役会において、第三者割当により発行される第4回無担保転換社債型新株予約権付社債の募集を行うことを決議しました。

概要は、以下のとおりであります。

第4回無担保転換社債型新株予約権付社債

(1) 払込期日	2020年6月5日
(2) 新株予約権の総数	40個
(3) 社債及び新株予約権の発行価額	各本社債の発行価額は5,000,000円（額面100円につき金100円） 本転換社債型新株予約権の発行価額は無償
(4) 当該発行による潜在株式数	（注）
(5) 資金調達額	200,000,000円
(6) 転換価額	（注）
(7) 募集又は割当方法（割当予定先）	第三者割当の方法により、全額を株式会社武雄嬉野国際カントリークラブに割り当てる。
(8) 資金用途	新規事業の展開資金及び既存事業の安定的な運営資金

（注）詳細につきましては、本日公表の「第三者割当により発行される無担保転換社債型新株予約権付社債の募集に関するお知らせ」をご参照ください。